

Ram Air Intake System

ラムエアインテークシステムNo. MLY958
取付・取扱説明書

AutoExe

A New Driving Sensation

株式会社オートエクス

〒135-0051 東京都江東区枝川2-15-8
TEL 03-6458-7251 FAX 03-6458-7261

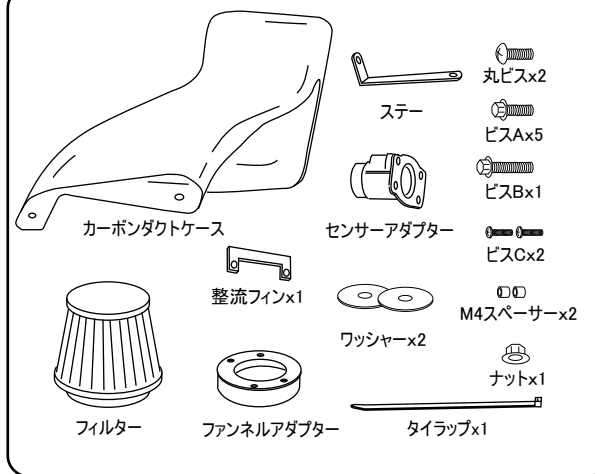
この度は、オートエクス ラムエアインテークシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車輻に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取付の際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

適合車種：MPV(LY3P)23F&23C

警告

- 本書に記載する説明にしたがって装着を行ってください。本書に記載する以外で、当製品の取付け上やむを得ない場合を除き製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
- 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方は自動車整備を専門に3年以上経験されている方、または当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
- 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダが発行の整備書を参考に作業を行ってください。
- 作業中に車が動き出さないように平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停車させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を行ってください。
- 適合車種欄に記載する車両以外には絶対に取付けをしないでください。
- 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車体に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていたりした場合、または日常点検を怠ったために発生した事故などについては、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品は遮熱効果を最大限発揮させるため、インテークダクトとボンネットのクリアランスが最小限となる様、設計されており、車両の個体差によっては、ダクトケースとボンネットが干渉する場合があります。もし干渉が発生する場合は、ボンネットの高さ調整などを行ってください。

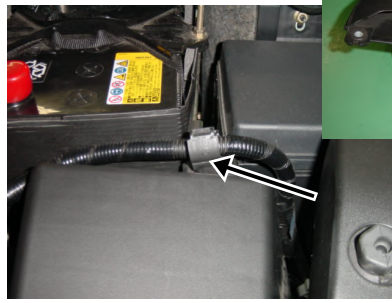
PARTS LIST



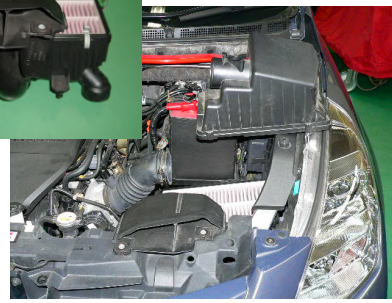
ノーマルクリーナーの取外し



1: 純正エアホースのバンドを緩めます。エアフロセンサーのカブラーを取り外します。

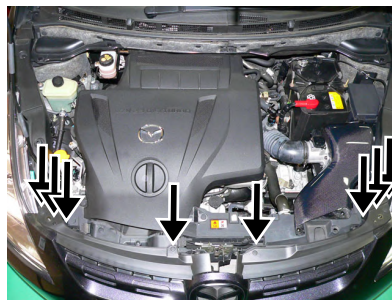


2: 純正エアクリーナーボックスから配線を外します。

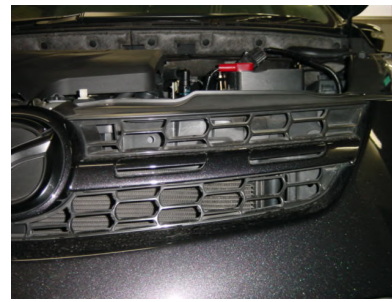


3: 純正エアクリーナーボックスをフレッシュエアダクトごと取り外します。純正エアクリーナーボックスからエアフロセンサーを取り外します。

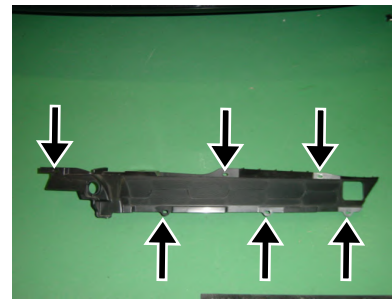
グリルブラケットの取外し



4: フロントグリル及びバンパーを固定している5ヶ所のクリップと2ヶ所のボルトを外します。(写真はターボ車ですが、作業要領は同じです)

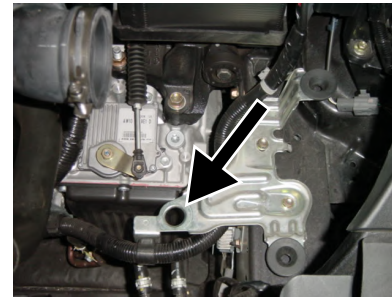


5: フロントグリル部を手前に引き開けながら、グリルブラケットの6ヶ所のタッピングビスを外します。

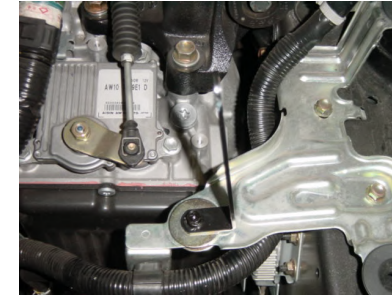


6: グリルブラケット 矢印部 6ヶ所のタッピングビスを外します。(下側の3ヶ所は短いドライバーを使用してください。)

ラムエアインテークシステムの取付け



1: 矢印部のインシュレーションラバーを外します。



2: エアクリーナーブラケットの上下にワッシャーを挟み、その上にステーを仮組みします。(ビスB、ナット使用)



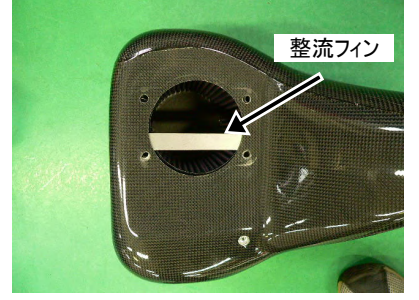
3: フィルターにファンネルアダプターを取り付け、バンドで締めます。



4: フィルターをカーボンダクトケースに入れます。



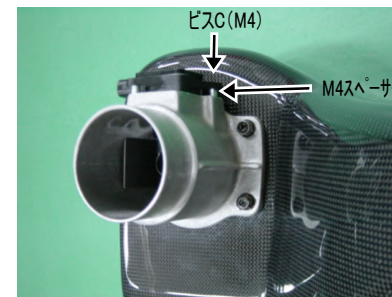
5: 写真のような角度で入れます。



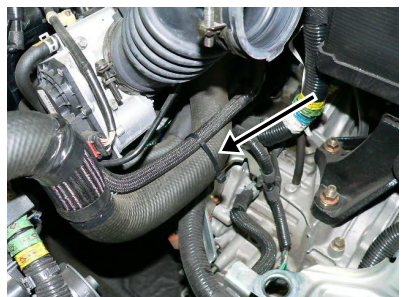
6: アダプターとカーボンダクトケースの間に整流フィンを配置します。



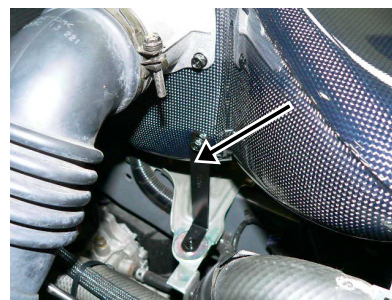
7: そのままエアフロアダプターを上から被せてビスAで取り付けます。



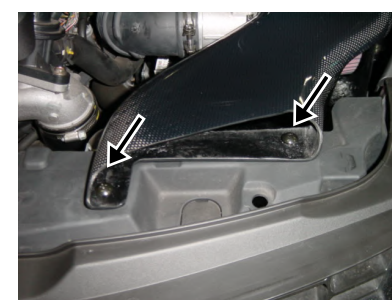
8: エアフロセンサーをM4スペーサーを挟みビスCで取り付けます。



9: 純正エアクリーナーボックスから外したホースをラジエーターホースにタイラップで留めます。



10: ラムエアインテークASSYを純正エアホースに差し込み車両に配置し、カーボンダクトケースをステーに仮組みします。(ビスA使用)



11: カーボンダクトケースを丸ビスで2ヶ所固定します。



12: 各部、クリアランスを確認しながら増し締め固定します。

※豪雨時や前方からの高圧スチーム洗車などを行なう時は、グリルのエア導入部をガムテープなどで塞いでください。